2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　フマキラー株式会社　　上場取引所　東

コード番号　　4998　　ＵＲＬ　https://www.fumakilla.co.jp

代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）大下　一明

問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）郷原　和哉　　ＴＥＬ　0829-55-2112

半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　－

決算補足説明資料作成の有無：　無

決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	44,325	10.4	1,985	△6.4	1,751	△17.6	1,961	47.9
2026年３月期中間期	40,142	△1.0	2,120	30.5	2,127	35.9	1,326	78.7

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　　1,959百万円（168.5%）　　2026年３月期中間期　　729百万円（△70.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	119.01	－
2026年３月期中間期	80.47	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	64,198	30,308	43.8	1,707.09
2026年３月期	68,556	29,327	39.1	1,627.35

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　28,130百万円　　2026年３月期　　26,817百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	－	－	24.00	24.00
2027年３月期	－	－			
2027年３月期（予想）			－	24.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	4.7	1,900	△13.3	1,850	△18.2	2,100	74.0	127.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	16,490,000株	2026年３月期	16,490,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	11,054株	2026年３月期	10,853株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	16,479,078株	2026年３月期中間期	16,479,535株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11

１．経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（１）当中間期の経営成績の概況

（経営成績）

（単位：百万円）

指標等	2026年3月期 中間期累計	2027年3月期 中間期累計	増減額	増減率（%）
売上高	40,142	44,325	4,183	10.4
営業利益	2,120	1,985	△135	△6.4
経常利益	2,127	1,751	△375	△17.6
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,326	1,961	635	47.9
１株当たり中間純利益	80円47銭	119円01銭		

（国内・海外売上成績）

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期累計	2027年3月期 中間期累計	増減額	増減率（%）
国内	14,792	15,539	747	5.1
海外	25,350	28,786	3,436	13.6
合計	40,142	44,325	4,183	10.4
海外売上構成比	63.2%	64.9%		

当中間連結会計期間（2026年４月１日から2026年９月30日まで）のわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続く一方、海外では欧米の金融政策の動向や中国経済の減速懸念に加え、地政学的リスクや為替相場の変動、資源価格の推移等もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、それぞれの国に最適な高効力・高品質の商品を提供し、世界中のより多くの人々に安心を届けることを目指しています。

特に、この数年でグループ全体の事業領域と欧州展開をはじめとする地理的な拡大が進んだため、それらの経営基盤強化と事業展開のスピードアップを積極的に進めてまいりました。

その結果、連結売上高は前年同期比10.4%増の443億25百万円（為替変動の影響を除くと4.4%増）となりました。

国内売上は、園芸用品、防疫剤が減収となった一方で、殺虫剤、家庭用品で増収となり、前年同期比5.1%増の155億39百万円となりました。一方、海外売上は、現地通貨ベースでは主要国で堅調に推移し、円安による増収要因があった結果、前年同期比13.6%増の287億86百万円（為替変動の影響を除くと4.0%増）となりました。

売上原価は、前年同期比30億16百万円増加し306億95百万円となり、売上原価率は0.3ポイント増の69.3%となりました。売上総利益は136億29百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

販管費につきましては、人件費・広告宣伝費等の増加により、前年同期比12.6%増の116億44百万円となりました。

これらの結果、営業利益は19億85百万円（前年同期比6.4%減）、経常利益は17億51百万円（前年同期比17.6%減）、特別利益において投資有価証券売却益が発生したことから親会社株主に帰属する中間純利益は19億61百万円（前年同期比47.9%増）となりました。

次に、セグメント別の概況についてご報告申し上げます。

（単位：百万円）

		2026年3月期 中間期累計	2027年3月期 中間期累計	増減額	増減率（%）
日本		14,923	15,810	887	5.9
	殺虫剤	7,758	8,324	566	7.3
	家庭用品	771	784	13	1.7
	園芸用品	2,371	2,175	△196	△8.3
	防疫剤	919	853	△66	△7.2
	その他	3,102	3,673	570	18.4
東南アジア		15,976	18,731	2,754	17.2
	殺虫剤	15,897	18,628	2,730	17.2
	家庭用品	79	103	23	30.2
欧州		7,754	8,258	504	6.5
	殺虫剤	7,754	8,258	504	6.5
その他		1,487	1,524	37	2.5
	殺虫剤	1,487	1,524	37	2.5
合計		40,142	44,325	4,183	10.4
	殺虫剤	32,898	36,736	3,838	11.7
	家庭用品	850	887	37	4.4
	園芸用品	2,371	2,175	△196	△8.3
	防疫剤	919	853	△66	△7.2
	その他	3,102	3,673	570	18.4

日本

殺虫剤部門は、最盛期の４月・５月の売上が好調だったことから、83億24百万円（前年同期比５億66百万円増、7.3%増）の売上となりました。

家庭用品部門は、花粉関連商材の返品が増加した一方で、アルコール除菌剤、除湿剤の売上が前期を上回ったことなどにより、７億84百万円（前年同期比13百万円増、1.7%増）となりました。

園芸用品部門は、競争環境が激化したことなどから、21億75百万円（前年同期比１億96百万円減、8.3%減）となりました。

防疫剤部門の売上高は、８億53百万円（前年同期比66百万円減、7.2%減）となりました。

その他の部門は、36億73百万円（前年同期比５億70百万円増、18.4%増）となりました。

なお、外部顧客に対する売上高は、158億10百万円（前年同期比８億87百万円増、5.9%増）で、セグメント損失は４億67百万円（前年同期は２億24百万円のセグメント損失）となりました。

東南アジア

現地通貨ベースでは主要各国で前年同期を上回り、加えて円安の影響も寄与した結果、外部顧客に対する売上高は187億31百万円（前年同期比27億54百万円増、17.2%増）となりました。また、セグメント利益は10億55百万円（前年同期比１億33百万円増、14.4%増）となりました。

欧州

現地通貨ベースで前年同期並みとなりましたが、円安の影響を受けた結果、外部顧客に対する売上高は82億58百万円（前年同期比５億４百万円増、6.5%増）となりました。また、セグメント利益は８億17百万円（前年同期比５百万円減、0.7%減）となりました。

その他

インドとメキシコを中心に販売し、外部顧客に対する売上高は15億24百万円（前年同期比37百万円増、2.5%増）となりました。また、セグメント利益は99百万円（前年同期比77百万円減、43.7%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて43億58百万円減少し、641億98百万円となりました。主な要因は原材料及び貯蔵品が６億３百万円、返品資産が３億２百万円、電子記録債権が２億17百万円増加した一方で、商品及び製品が28億47百万円、現金及び預金が13億31百万円、売掛金が８億79百万円、投資有価証券が６億37百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて53億39百万円減少し、338億89百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が14億51百万円、未払金が13億６百万円、返金負債が８億85百万円、未払法人税等が６億75百万円、電子記録債務が３億13百万円増加した一方で、短期借入金が97億36百万円、賞与引当金が２億75百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて９億80百万円増加し、303億８百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が15億65百万円増加した一方で、非支配株主持分が３億32百万円、その他有価証券評価差額金が２億87百万円減少したこと等によるものであります。

自己資本比率は4.7ポイント増加し43.8％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ15億７百万円減少し、68億18百万円となりました。

営業活動によって獲得した資金は84億45百万円（前年同期は76億23百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前中間純利益が33億32百万円、減価償却費が９億４百万円、投資有価証券売却益が15億85百万円、売上債権の減少額が７億15百万円、棚卸資産の減少額が24億92百万円、仕入債務の増加額が17億30百万円、返金負債の増加額が８億85百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によって獲得した資金は10億26百万円（前年同期は26億99百万円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が５億42百万円、定期預金の純増減額の増加が１億84百万円、投資有価証券の売却による収入が18億84百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によって使用した資金は107億７百万円（前年同期は69億45百万円の使用）となりました。これは短期借入金の純増減額の減少が97億47百万円、子会社の自己株式の取得による支出が４億82百万円、配当金の支払額が３億95百万円あったこと等によるものであります。

なお、当中間連結会計期間末における借入金残高は、前連結会計年度末に比べ96億49百万円減少して、84億42百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月14日に公表しました通期の業績予想につきましては、2026年11月９日発表の「2027年３月期第２四半期(中間期)、通期業績の修正に関するお知らせ」にて修正いたしました。

当該業績予想の修正の詳細につきましては「2027年３月期第２四半期(中間期)、通期業績の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,823	8,491
受取手形	16	4
売掛金	17,322	16,443
電子記録債権	858	1,076
商品及び製品	10,280	7,433
仕掛品	729	611
原材料及び貯蔵品	4,303	4,907
返品資産	631	933
その他	1,815	2,149
貸倒引当金	△184	△184
流動資産合計	45,596	41,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,863	5,790
機械装置及び運搬具（純額）	2,682	2,757
工具、器具及び備品（純額）	444	394
土地	1,976	1,977
リース資産（純額）	90	82
使用権資産（純額）	733	699
建設仮勘定	480	550
有形固定資産合計	12,271	12,253
無形固定資産		
のれん	865	811
商標権	611	546
その他	1,201	1,191
無形固定資産合計	2,679	2,549
投資その他の資産		
投資有価証券	6,071	5,434
退職給付に係る資産	221	353
その他	1,898	1,929
貸倒引当金	△182	△189
投資その他の資産合計	8,009	7,528
固定資産合計	22,959	22,331
資産合計	68,556	64,198

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,556	9,008
電子記録債務	1,610	1,923
短期借入金	16,084	6,347
１年内返済予定の長期借入金	462	491
リース債務	86	74
未払金	4,161	5,468
未払法人税等	237	913
賞与引当金	894	618
返金負債	1,983	2,869
その他	749	676
流動負債合計	33,826	28,391
固定負債		
長期借入金	1,545	1,603
リース債務	303	295
退職給付に係る負債	921	937
役員退職慰労引当金	517	541
執行役員退職慰労引当金	18	18
資産除去債務	34	34
その他	2,060	2,068
固定負債合計	5,401	5,498
負債合計	39,228	33,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698	3,698
資本剰余金	4,659	4,508
利益剰余金	12,402	13,968
自己株式	△10	△10
株主資本合計	20,749	22,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,700	2,413
為替換算調整勘定	3,325	3,459
退職給付に係る調整累計額	40	92
その他の包括利益累計額合計	6,067	5,966
非支配株主持分	2,510	2,177
純資産合計	29,327	30,308
負債純資産合計	68,556	64,198

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	40,142	44,325
売上原価	27,679	30,695
売上総利益	12,463	13,629
販売費及び一般管理費	10,342	11,644
営業利益	2,120	1,985
営業外収益		
受取利息	75	75
受取配当金	96	99
還付消費税等	41	－
その他	86	89
営業外収益合計	300	264
営業外費用		
支払利息	89	110
為替差損	172	366
その他	31	20
営業外費用合計	293	497
経常利益	2,127	1,751
特別利益		
固定資産売却益	4	2
投資有価証券売却益	4	1,585
特別利益合計	9	1,587
特別損失		
固定資産除売却損	0	7
特別損失合計	0	7
税金等調整前中間純利益	2,136	3,332
法人税、住民税及び事業税	870	1,213
法人税等調整額	△162	37
法人税等合計	707	1,250
中間純利益	1,428	2,082
非支配株主に帰属する中間純利益	102	120
親会社株主に帰属する中間純利益	1,326	1,961

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,428	2,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	491	△287
為替換算調整勘定	△1,193	114
退職給付に係る調整額	3	49
その他の包括利益合計	△698	△122
中間包括利益	729	1,959
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	714	1,860
非支配株主に係る中間包括利益	15	99

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,136	3,332
減価償却費	817	904
のれん償却額	65	74
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△4	82
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	3
その他の引当金の増減額（△は減少）	△223	△297
受取利息及び受取配当金	△172	△174
支払利息	89	110
為替差損益（△は益）	0	12
投資有価証券売却損益（△は益）	△4	△1,585
有形固定資産除売却損益（△は益）	△4	4
受取保険金	△10	△0
売上債権の増減額（△は増加）	985	715
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,759	2,492
仕入債務の増減額（△は減少）	1,048	1,730
返品資産の増減額（△は増加）	△327	△301
返金負債の増減額（△は減少）	902	885
その他	932	807
小計	7,994	8,796
利息及び配当金の受取額	170	172
利息の支払額	△101	△113
保険金の受取額	10	0
法人税等の支払額	△451	△410
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,623	8,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△757	△184
有形固定資産の取得による支出	△1,829	△542
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△12	△11
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却による収入	5	1,884
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	－	△80
その他	△104	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,699	1,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△7,361	△9,747
長期借入れによる収入	1,267	333
長期借入金の返済による支出	△198	△253
リース債務の返済による支出	△152	△30
自己株式の取得による支出	△0	△0
子会社の自己株式の取得による支出	－	△482
配当金の支払額	△362	△395
非支配株主への配当金の支払額	△137	△131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,945	△10,707
現金及び現金同等物に係る換算差額	△493	△271
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,514	△1,507
現金及び現金同等物の期首残高	9,361	8,326
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,846	6,818

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

（１）報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,923	15,976	7,754	38,654	1,487	40,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,657	1,385	－	4,042	39	4,082
計	17,580	17,362	7,754	42,697	1,526	44,224
セグメント利益又は損失（△）	△224	922	823	1,521	177	1,698

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

（２）報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	1,521
「その他」の区分の利益	177
セグメント間取引消去	421
中間連結損益計算書の営業利益	2,120

（３）報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

（１）報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,810	18,731	8,258	42,800	1,524	44,325
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,407	1,050	－	3,457	23	3,480
計	18,217	19,781	8,258	46,258	1,548	47,806
セグメント利益又は損失（△）	△467	1,055	817	1,405	99	1,505

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

（２）報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	1,405
「その他」の区分の利益	99
セグメント間取引消去	479
中間連結損益計算書の営業利益	1,985

（３）報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。